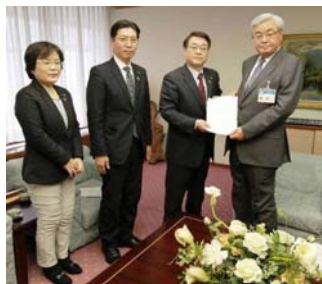




津田かおり通信

VOL_3 令和2年春号



3月24日福井市議会公明党(下畑・菅生・津田)として東村市長へ新型コロナウイルス感染症対策の要望書を提出

《ごあいさつ》

世界中に蔓延・猛威を振るい、社会に不安と混乱を起こしている、新型コロナウイルス感染症。

感染防止対策、感染者への医療体制、景気後退への経済対策、教育現場への対応等、かつて経験したことない、困難で多くの問題があります。また状況も時々刻々と変化し、待ったなしの迅速な対応が求められています。一日も早く終息し通常の生活が取り戻せるよう、市民の皆様のお声を聴きながら、全力を尽くしてまいります。



令和2年3月2日～4日、市議会の「3月定例会本会議」が開催され皆様から寄せられたお声をもとに、右の3項目について、一般質問に立たせて頂きました。

3月議会での質問項目(概要)

1. G I G Aスクール構想の実現
2. 女性活躍の推進
3. 面会交流支援

1. G I G Aスクール構想の実現

昨年12月、文部科学省はG I G Aスクール構想を打ち出した。令和の時代のスタンダードとして、子供達一人1台のコンピュータ端末と学校の高速大容量の通信ネットワークを整備していくこととされている。今や仕事だけでなく、日常生活も含め、I C Tの活用は当たり前で、これからの時代を生きていく子供達にとってI C Tは、切っても切り離せないものになっている。昨年3月時点で本市のコンピュータ端末の普及は、全国平均と同じ5.4人に1台、中学校はほぼ3人に1台であった。国の本年度補正予算で約2,300億、本市は約2億円余りが補正予算で計上されている。これまでは地方財政措置での対応で、それぞれの自治体の一般財源に委ねられており、画期的な政策転換である。本市としても国からの財政支援を最大限に活用しながら学校I C T環境整備を加速すべき。市の負担も一部発生するが、千載一遇のチャンスの時である。

① 一人1台のコンピュータ端末

国は令和5年度までに、小・中学校の全学年で、一人1台のパソコン端末整備の実現を目指している。本市としても急速にこれを加速していく必要がある、どのようにして実現していくのか。

答弁(吉川教育長)

小学校は令和3年度と4年度に、中学校は令和5年度に、一人1台のパソコン端末を整備予定である。



©KOMETO

② 通信ネットワーク環境整備

通信ネットワークの整備については、政府の今年度補正予算において、今回限りの補助になる。今回の補助を活用しないと自治体の全額負担となってしまうため、一刻も早く対応すべきと考えている。本市としての学校の通信ネットワーク環境整備計画を伺いたい。

答弁(吉川教育長)

令和2年度内に校内の配線やネットワーク機器を更新し、高速大容量の通信ネットワーク環境を整備する。

③ 教師の効果的なI C T活用

パソコン端末ネットワーク環境の整備は、あくまでも手段であり効果的に使い、子ども達の学びを豊かにしていくことが大切である。教師がI C Tを活用して指導する力を高めていかねばならない。教師が、このI C Tを効果的に活用できるために本市では、どのように取り組んでいくのか。

答弁(吉川教育長)

教科書に掲載されてあるQRコードや、高速ネットワークを活用した動画の表示等を多く取り入れて、子ども達の興味関心を高める授業を進めていく。そのために先生方のニーズに合った課題別研修や校内研修を充実させていく。

④ ICT化と教員の働き方改革

多忙な教員に新たにICT機器が加わることにより、戸惑い・不安を持つ方がいるかもしれないが、教員に支援ツールとしてこのICTを効果的に活用すれば、教材の研究、授業の準備、書類作成、会議等、効率的な実施が可能になると考えられる導入時は、一時的に負担が生じる場合があるかもしれないが、4校に1人分が地方財政措置の対応がなされている。ICT要員の配置の充実も有効な手だてと考える。このICTの効果的な活用で、教員が子どもと向き合える時間が、これまで以上に増え、本来の業務に専門性を発揮できる機会が増す等、教員の仕事は質・量の両面から改善できる。学校のICT化と働き方改革について、本市としてどのように取り組んでいくのか。

答弁（吉川教育長）

教職員の業務改善に向けたICT環境整備は、以前から取り組んでいる。平成24年度に福井市教育用ネットワーク「F E n e t」を構築。ネットワーク上での情報共有・協働作業が可能なグループウェアを活用し、効率的な情報の伝達文書提出の簡略化に取り組んできた。今後も活用し、教職員のニーズに合った仕組みを構築して、さらなる業務改善につなげていく。

⑤ 特別支援教育におけるICT活用

ICT機器は、視覚や聴覚等、障害のある子ども達にとって、一人ひとりに応じた最適で効果的な学びが提供できる。ディジー教科書等、デジタル教科書を読み書きに困難を抱えている子ども達が、学校で必要に応じて使用できる法改正が行われ、昨年4月から施行されている。しかし、こうした子ども達へ、パソコンを一人1台を提供できる仕組みがなく、公明党として国会や予算要望等で繰り返し訴え続けている。このGIGAスクール構想は、こうした子ども達にこそ、優先して提供すべきではないか。またパソコンによる遠隔教育は、病気療養中の子ども達の学習機会に資するものである。この特別支援教育におけるICT活用について、現在の取り組みと今後の取り組みについて伺いたい。

答弁（吉川教育長）

GIGAスクールネットワークは、全ての子ども達が学びやすい環境を構築することを目指している。現在、小・中学校は特別支援教室でも無線LANが使える、各学校に整備したタブレット端末を活用し、子供達のニーズに合った授業ができる環境になっている。しかし現在は、一人1台のパソコン端末にはなっていない。令和5年度までに特別支援教育においてもICTを効果的に活用した豊かな学びを実現していく。

2. 女性活躍の推進

第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略（素案）によると、福井市は大学進学、卒業、就職時に県外への転出が顕著になっている。これからが楽しみな20歳代の若者が県外にいつてしまう。注目したいのは女性の動向、政府分析によると地方出身の女性は、一旦県外に出ると、そこで定着する傾向が男性より強く、結婚・出産後も戻る動きが少ない。具体的な理由は、企業に対し将来性が見込めない、希望する仕事がない、責任ある仕事を任せてもらえない、賃金が低いといったイメージを持つ女性が多いとある。女性が住むことを敬遠する地域は、将来的に発展は見込めないと言っても過言ではない。昨年5月に公明党の訴えで「女性活躍推進法」が改正され、民間については大企業だけに果たされていた行動計画の策定義務が中小企業にも拡大される。本市では、女性活躍事業として720万5,000円の予算が組まれている。

① 働きやすく活躍できる環境整備

本市として女性が働きやすく活躍できる環境整備等、予定している具体的な取り組みを伺いたい。

答弁（前田総務部長）

女性活躍応援事業において、企業向けと働く女性向けの取り組みを予定している。企業向けとしては、ウェブ上で企業の現状や課題を分析し、各社の状況に合わせた取り組みを紹介するサイトを制作、企業の自発的な取り組みにつなげるとともに、企業の魅力を発信できるツールとして活用していく。また中小企業が多いという本市の状況を踏まえ、積極的にサイトの活用を促していきたい。働く女性向けとしては、女性のキャリアアップへの意欲向上と、女性登用への経営者の意識改革を図るための「Happy Woman プロジェクト」事業を実施する。内容は、女性同士の意見交換ができる交流会の実施、自社で女性が中心となるプロジェクトチームを立ち上げ、女性が働きやすい職場づくり等の取り組みを構築、経営者の方へ向けて提案していく。経営者の意識改革につなげるとともに、社内での実践により女性活躍推進の加速化を図っていく。

② 子育てと仕事を両立し働ける施策

共働き日本一の福井県、子育てと両立しながら働き続けるための施策と取り組みを伺いたい。

答弁（前田総務部長）

本市では、ワーク・ライフ・バランスの推進、子育て支援、女性の活躍促進に取り組んでいる企業を「子育てファミリー応援企業」として登録している。2月末現在189社が登録している。登録企業の具体的な取り組みとして、出産した8割以上が育児休暇を取得、子育て中の女性をリーダー的立場へ積極的に登用がある。



③ 放課後児童クラブの整備

子育て中の女性が安心して働ける環境づくりとして、市長のビジョンには「希望する小学生が全員入会できるよう、放課後児童クラブを整備します」とあるが御所見を伺いたい。

答弁（内田教育部長）

近年は放課後児童クラブのニーズが増加している。今後もそれぞれの地域の実情に応じて実施場所・運営者の確保を進め、入会を希望する児童全員を受け入れできるよう整備を進めていく。



④ 福井×高校生ワクワク学校事業への取り組み

本年度の予算で、若手職員の提案を事業化するチャレンジ未来予算が新設された。大いに期待が膨らむ。その一つに「福井×高校生ワクワク学校事業」がある。主役となる高校生をどのように募るのか、また具体的な取り組みを伺いたい。本市では中高生に行ったアンケートでは、運動会・祭り・清掃等の地域行事に関わった生徒の方が地元への就職意向が強い。鯖江市のJK課は、まちづくりに対して最も関心が低い女子高生を引き込む事で成功している。女子高生がはじければ、男子高生に波及し効果があるものと確信する。人口減少に歯止めをかけ、本市の将来がワクワクするような取り組みになると思う。

答弁（前田総務部長）

この事業は、高校生が地域活動を学べる機会を設け、高校生自らがテーマを設定し、取り組みの検討・発表を実施する場を提供することで地元への愛着、誇り等を醸成するもの。生徒の募集は、各高校での呼びかけ、高校生や大学等の自主グループ等とも連携をとりながら、募集していく。具体的な取り組みの一例として、高校生の目線で地域イベントを紹介する活動、駅前に若者を呼び込むアイデアの提案を想定している。高校生が自由な発想でワクワク活動できるプログラムを実施したい。

3. 面会交流支援

子どもにとって両親の離婚は一大事、子どもはある日突然に片方の親と会えなくなる。しかし離れていても親子の縁は、切れることはない。子どものために、適切な「面会交流」がおこなわれる事が絶対に必要である。「面会交流」とは、子どもと離れて暮している片方の親と定期的に会って話をしたり、遊んだりして交流すること、たとえ両親が離婚しても、子どもは父母どちらからも愛されていると実感できることによって、深い安心感と自尊心を育むことができる。面会交流は子どもの健やかな成長を支える大切なものである。

① 面会交流の実態掌握

本市では、元調停委員・現調停委員・弁護士・元教員等で構成される「面会交流支援センター福井」という自主団体で支援を行っている。ただ裁判や調停を経た複雑はケースだけの対応で、本市の一人親世帯2,400世帯から見るとほんの一握りである。「面会交流」の言葉自体の認知度が低いのが現状である。面会交流の実態はどこまで把握しているか。

答弁（山田福祉保健部長）

昨年8月の調査では、離婚・未婚の母子父子世帯で面会交流の取り決めをした母子世帯は35.6%、父子世帯は61.5%、うち文書での取り決めは母子世帯で27.1%、父子世帯で38.5%。なお面会交流の取り決めをしなかった理由について、母子世帯では、「相手が求めてこないから」「相手が養育費を支払わないから」が上位にあがり、父子世帯では「子どもが会いたがらないから」「子どもが精神的にまたは身体的に不安定になるから」が上位にあがっている。

② 面会交流に関する相談の実態

兵庫県明石市では、全国初の子ども養育支援に関する事業を始めており、離婚後の親の子育ての不安、子どもの気持ちを考えて専門職に相談できる離婚前講座を実施したり、月に1回市役所で専門の相談員が養育専門相談を実施、また専門職総合相談は常勤の専門職員の弁護士や社会福祉士、臨床心理士がチームで対応している。本市も子ども福祉課で様々な相談に対応されているがこの面会交流に関する相談の実態はどうか。

答弁（山田福祉保健部長）

子ども福祉課に母子父子自立支援員を配置、独り親家庭に関する様々な相談に応じている。今年度1月末現在の相談件数は1件「面会交流支援センター福井」につなげたところ。実態調査では、面会交流に関する法律相談を含め独り親への各種支援制度についてあまり知られていない結果となっている。専門的機関と連携を取りながら様々な困難を抱える独り親家庭を支援する施策について、まず周知をはかりさらに充実していきたい。



QRコード

一般質問動画をご覧ください

予算特別委員会より



3月17・18日開催の予算委員会では、主に新型コロナウイルスの教育現場での対応・女性活躍等について質問しました。動画QRコード



3月17日



3月18日

「安心安全のまちづくり」 の一部を紹介させていただきます



26

設置後



設置前

- 明里町足羽川堤防階段に手すり設置 -
ご高齢の方の要望でした。この春は、階段を昇りきって満開の桜を愛でられたと思います。



25

改修前



改修後

- 豊岡みづこし保育園横道路 -
路面がデコボコ・波打ち、雨が降ると水たまり。園児の通行やベビーカーの通行が大変でした。

- ハニー足羽店前歩行者用信号 -
歩行者用の青信号の時間が短いため、ご高齢の方等が時間内に渡り切れず、交通事故の恐れがありました。そこで時間を18秒から21秒に変更しました。たった3秒でもかなり違います。

地域実績マップQRコード



「安心安全のまちづくりマップ」をご覧ください。写真のNo.が地図上に記載してあります。



28

公明党女性局より

3月21日福井県公明党女性議員（津田かおり・中道敦賀市議・伊東大野市議で、勝山市大野市（4ヶ所）で街頭演説を実施しました。



ホームページはこちらのQRコードよりぜひご覧ください！

ご要望・ご相談等ございましたら
お気軽にご連絡ください。

電話・FAX 0776-92-0686

〒910-0065
福井市八ツ島町 15-1-4

E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp



facebook



LINE でもお気軽に！